

科目名	情報入門（A-4組）				
担当教員名	柏木 将宏				
学部等	全学共通科目	開講学期	2025年度春学期		
ナンバリング		学年	1年	単位	2単位
副題	アカデミック・リテラシーA				
科目情報補足					
事前に履修することが望ましい科目					

この科目を通じて身につける能力要素	
全学共通の能力要素	<2025年度以降入学学生>チームワーク【○】、情報・会計・多文化リテラシー【◎】、生涯学習の基盤となる知識・技能【○】、探求・分析【○】
学部固有の能力要素	
能力要素と授業内容の関係	本科目では、全般的に情報リテラシーを身に付ける内容となっており、それは生涯学習の基盤となる知識・技能ともなる。またグループワークの演習によってチームワークを、情報検索やデータリテラシーを扱うことで探求・分析の能力を、それぞれ身に付けることができる。
能力要素の詳細	<a href="https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html">https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html</a> （2024年度以前入学学生のCUC6つの能力要素は、「全学共通の能力要素」に記載します）

科目概要
近年、Society 5.0やDXといったキーワードを通じて情報技術が社会活動に取り組みられ、これらにより学びや仕事の方法が徐々に変化している。さらに大規模言語モデルを利用したAI技術が大きく発展した結果、知識とは何か、といった根本的な問題についても考えさせられるようになっている。一方で、大学で学ぶべき専門知識やそれを社会に活かすための基本的な技能を身につけることは依然として重要であり、そのための学修の価値は変わっていない。こういった背景のもと「アカデミックリテラシー」すなわち研究や学修を効果的に進めるための考え方や技能は、ますます重要性を増している。自然言語での報告や論証、情報技術やデータ活用に関連する知識や技能は、新たな技術が登場し続ける現代社会でも必要不可欠であり、それらを習得することは学生にとって大いに意味あるものといえる。本科目は、オンデマンド形式の「実学入門I（アカデミックリテラシーB）」と共に学修し、理論と実践を組み合わせた授業により目標の到達を目指す。

科目の到達目標
・大学生活や研究活動に必要な知識と技術を身につける ・独学により実践的な問題解決能力を養いながら、自己学習の力の向上をはかる ・PCの基本的な操作技術を身につける ・アプリケーションソフトウェアの基本的な操作技術を身につける ・レポート執筆に必要な知識や技術を身につける ・情報要約について学び報告型レポート執筆の基本を身につける ・論証の方法について学び論証型レポート執筆の基本を身につける ・データの分析に必要な基礎的な知識や技能を身につける ・生成AIを活用した情報整理方法や文章推敲方法について学ぶ ・情報倫理、情報セキュリティについて学ぶ

授業の特徴（指定科目のみ掲載）
各自のPCを使った実習形式の面接授業である。PCの利用スキルや実践的な問題解決能力を養い、今後の学修や研究活動、さらには社会で活躍するために必要な能力を身につける。 本科目は、「千葉商科大学・数理データサイエンス教育プログラム（※）」のプログラム構成科目である。※文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」認定済み

履修上の注意

各自、毎回必ず充電済みのPCを持参すること。また、マウスの使用を強く推奨する。

実務経験を活かす授業		実務経験内容等	
PC必携	○	使用するソフトウェア等	microsoft teams, word, powerpoint等

データを活用する授業					
データ分析を行う	○	外部機関（企業等） のデータ活用する	○	その他	

アクティブ・ラーニングの要素					
グループワーク	○	プレゼンテーション	○	実習、実技、フィールドワーク	○
PBL（課題解決型学習）	○	双方向型学修（クリッカー等）	○	ディスカッション・ディベート	

反転授業	○	その他	
------	---	-----	--

授業計画			
授業回	各回の概要	各回の事前事後学修	事前事後学修時間
第1回	ガイダンスとPCの基本操作 ・eラーニング教材の説明（情報倫理、情報セキュリティ・個人情報保護など） ・タイピング教材について	（事前） PCの授業環境設定を完了させておく 教科書第2章を読んでおく （事後） 演習課題に取り組む	3.5時間
第2回	ファイル管理とOneDrive	（事前） 教科書第3章を読んでおく （事後） 演習課題に取り組む	3.5時間
第3回	情報検索 ・情報リテラシー、AIリテラシー ・ソーシャルメディアガイドライン ・本学付属図書館について、データベース活用	（事前） 教科書第4章を読んでおく （事後） 演習課題に取り組む 簡易レポートを作成する	3.5時間
第4回	グループワークで学ぶ(1) ・理由と根拠について整理する  「実学入門I」学修の状況確認	（事前） ここまでの「実学入門I」の学修を振り返る （事後） グループワークの結果を整理する 文献調査をする	3.5時間
第5回	グループワークで学ぶ(2) ・情報をもとに考察する	（事前） グループワークの準備をする （事後） 発表資料を完成させる	3.5時間
第6回	グループワークで学ぶ(3) ・整理した内容について発表する	（事前） 発表の準備をする （事後） 論証型レポートを作成する	3.5時間
第7回	Excelの基本操作 「実学入門I」学修の状況確認	（事前） 教科書第12章を読んでおく （事後） 演習課題に取り組む	3.5時間
第8回	グループワークで学ぶ(4) ・Excelの関数 ・データ集計（和、平均） ・Excelによるグラフ作成	（事前） 教科書第13章を読んでおく （事後） グループワークの内容を整理する	3.5時間
第9回	グループワークで学ぶ(5) ・Excelによる簡易データ集計 ・データの並び替え・ランキング ・データの表現とデータ可視化	（事前） 教科書第14章を読んでおく （事後） グループワークの内容を整理する	3.5時間
第10回	グループワークで学ぶ(6) ・Excelによる簡易データ分析 ・データの種類（質的変数・量的変数） ・データの分布と代表値、データのばらつき	（事前） 教科書第14章を読んでおく （事後） グループワークの内容を整理する	3.5時間
第11回	データについて考察する ・CSV操作 ・表やグラフのある文章の作成  「実学入門I」学修の状況確認	（事前） 教科書第15章を読んでおく ここまでの「実学入門I」の学習を振り返る （事後） データ考察型レポートを作成する	3.5時間

第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的なPC利活用</li> <li>・eラーニング教材のテスト（情報倫理、情報セキュリティ・個人情報保護など）</li> <li>・タイピングテスト</li> </ul>	（事前） 情報倫理テスト、タイピングテストの準備をする （事後） 実勢的なPC利活用について振り返る	3.5時間
第13回	まとめと振り返り	（事前） ここまで身につけた知識や技能を確認する （事後） 振り返り	3.5時間

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加度 67%</li> <li>・課題提出（タイピングスキルも含む） 33%</li> </ul> ※「実学入門I（アカデミックリテラシーB）」と合わせて総合的に評価する。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	必要に応じて個別に添削指導等を行い返却あるいは再提出を求める。講義資料の配付や課題提出等では電子メール、CUC PORTAL、Teamsを利用する。
テキスト・教科書	「千葉商科大学アカデミックリテラシー2025」
参考文献	必要に応じて授業時に指示する